

令和5年度 第2回函南町環境審議会 会議録

[会議の開催の日時] 令和5年9月11日（月） 午前9時55分～11時40分

[会議の開催場所] 函南町役場 3階中会議室

[出席者] 委員：（会長）八木戸委員、柿島委員、大隅委員、土屋委員、
鈴木（敏）委員、鈴木（久）委員、宮本委員、藤井委員
町：大沼厚生部長、加藤環境衛生課長、芹田課長補佐、笠井係長
（委託業者）株式会社 長大 松井氏、山本氏

[傍聴者] 1人

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 会議

＜審議事項＞

- ・函南町脱炭素化戦略及び地域温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）について
【事務局説明】函南町脱炭素化戦略及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）
について

【質問及び意見要旨】

委 員	昨年度は函南町環境基本計画、今回は地球温暖化対策実行計画が出されているが違いは何か。
事務局	函南町環境基本計画は、町の環境分野の総合的な計画である。地球温暖化対策実行計画（区域施策編）は、温室効果ガスの排出量削減等を推進するための総合的な計画である。環境基本計画は広い計画、区域施策編はその細部という形になる。
会 長	第六次総合計画における柱との整合性、枝葉のような形で環境関係が関連しているものだと思う。基本計画に則り、それについて環境などいろいろな関わりがあるので、それぞれの実行計画という理解でいいと考える。環境関係について、どのようにしていくかということなる。基本は第六次総合計画があり、環境基本条例なども踏まえた実施計画として、より具体的にどのような指針としていくかを議論するのが今回の審議会と考える。他にご意見はあるか。
委 員	環境基本計画と区域施策編を一緒とすることはできないか。
事務局	区域施策編と環境基本計画は、内容が共通する場合は統合できると考える。共通する部分が多々あれば統合して、環境基本計画と区域施策編の見直しの時に一緒にすることも事務局では考えている。
会 長	第六次総合計画があつて、それに基づき枝葉が出て、そこに脱炭素が構成される形となる。図式的な形で資料を作ると分かりやすくなると思う。
事務局	町の根本的な施策の基本としては函南町総合計画であり、この環境分野、福祉、その他の施策についても全てこの計画に基づいて行っている。イメージとしては、総合計画が根本の計画であること、そして枝葉のよ

事務局	うに環境基本計画があつて、さらにその下に町役場で進めている事務事業編があるという建付けになる。区域施策編については事務事業編と並行するようなイメージである。この辺の見方を工夫しながら表示できればと考えている。
委 員	一町民の立場になると、最終的に我々町民 1 人 1 人は、どこから手を付ければいいのかというように見えてしまう。何か手をつけやすいもの、レベル 1 のような、近い距離は車でなく歩きましょう、といった簡単な町民がやりやすいようなものであるといいと思う。難しいこともあるが、それはさておきこれを実施してくださいといったものとなればいい方向に向かう。わかりやすいものを最終的に作ってもらえるとありがたいと感じた。
事務局	皆様にご審議いただき、取り組みが分かりづらい、できないのではないのか、他に何かできないかななどを挙げていただいた中で、計画として町が推進する取り組み、町民及び事業者に期待する取り組みを決めたい。町民及び事業者に期待する取り組みの中でも、より皆様が実行しやすいこと、取り組みやすいものというのもまた別個で決めながら啓発し、皆様をお願いをしていくというような形になると思う。
会 長	町民及び事業者が取り組みやすい、わかりやすい方向で函南町としてはこういう形で進めていけばいいのかということの実行計画を今示していただいている。より分かりやすくする必要があると思う。
事務局	温室効果ガス削減のために、普段使っているエネルギーに意識と疑問を持っていただくことが一番重要だと考えている。普段皆様が生活している中、また事業活動を行っている中で思っていることを、この計画の町民及び事業者に対する取り組みや町が推進する取り組みに挙げていただきたい。
会 長	その他の再生可能エネルギーについて、函南町に地熱・地中熱の可能性はあるのか。
事務局	どういった可能性があるのかというのを今、調査をしている最中である。水力や地熱、地中熱、バイオマスなどが、函南町に可能性があるのかというのを調査をした上で、この審議会の中で審議をしていただくような形になる。
会 長	再生可能エネルギーの活用と書いてあるため、現状ポテンシャルがあるものと理解するがいかがか。
事務局	再生可能エネルギー導入ポテンシャルマップの中で、太陽光発電、風力発電、中小水力発電、太陽熱、地中熱という形で、今このポテンシャルがあるのではないかとこのところ調査をしている。これを基に町独自として、どういうものができるか、これから地域課題を解決していくためにどういうことができるかを検討していく予定になっている。
会 長	活用に努めますという表現があるため、必ずポテンシャルがあつて導入することのように見える。

事務局	ここは活用に努めますという記載ですけれども、改めて検討し文章の言い回しは考える。
会 長	町が推進する取り組みで指定ごみ袋からごみの処理手数料を上乗せした有料の指定ごみ袋導入を検討しますとあるが、これは新たなごみ袋を作るということか。
事務局	函南町は、ごみ袋に町がお金をかけて追加で徴収しているわけではない。近隣市町で取り組んでいるところもあるが、今の指定のごみ袋をそのまま使った場合に値上げをさせていただき、例えば5円の袋を10円にし、10円のうちの半分の5円を町の方に処理手数料として入れるということも検討していく必要があるのではないかと考えている。
会 長	実行計画に入れる必要があるか。誤解される懸念もあるがいかがか。
事務局	主な目的はごみの減量化が1つ、もう1つは、いただいた手数料によって現在の廃棄物の処理施設の修繕等に充てるというのがこのごみ袋の有料化の一般的な他行政でも行っている使い方になる。ただ、有料化にすればごみが減るだろうという考えもあるが、これについては十分に執行に至るまでに、説明会を開いたり、地域を回ったりということが第一である。ごみの減量化というところの1つの手段としては、こういう方策があるということである。
会 長	ごみ減量化の手段として、有料化、値上げを考えなければならないという言い方でないと誤解を生む可能性があるため留意いただきたい。
事務局	その辺は注意して記載したいと思う。あくまで減量化が目的で、ごみを削減する手段の一つとしてということになる。
委 員	お客様は非常に値上げに対して敏感になっている。ごみ袋の話も、値上げの理由、値上げの時期等、必ずお客様へご説明できるよう準備いただければと思う。
事務局	すぐということではなく、この計画の中でごみの減量の施策の一つとして挙げた。町民への説明、議会への説明等、また廃棄物減量等の審議会にもお諮りしてご意見をいただくという過程がある。丁寧に説明して、実行するかどうかということになると思う。
会 長	では次に進んでよいか。事務局より説明をお願いする。

【事務局説明】 函南町脱炭素化戦略及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）について

【質問及び意見要旨】

委 員	農業用水路のポテンシャルが0となっているが、水田など小さい規模の用水路へ設置する小型の水力発電機の設備があることを聞いたが、そういう可能性というのではないか。
事務局	非常に小さい水路のポテンシャルまでは、今回の環境省から公表されている再エネポテンシャルには、見込まれていないと考えられる。一般的には大きい規模の農業用水路を対象として、ポテンシャルが公表されている。この点については改めてご報告する。

委 員	田代に排水の施設があるので、そこで使う電気を小型の水力発電などで賄えたりするのかと考えていた。
事務局	環境省が出している数値を使っている。環境省が把握できない地域の特性や地域の課題についてはご意見をいただき、調査をして反映させていきたいと考えている。
会 長	環境省の基準と併せて函南町内の可能性のあるところをこれから目標設定するという理解でよいか。この辺から上を考えている、またそれによって経費あるいは整備費がどのくらいになるかわかれば事業者の参入も促進できるのではと思う。他にご意見はないか。 審議は以上とさせていただきます。今後の予定について事務局より説明をお願いします。
事務局	素案へのご意見を提出してほしい。今後の予定は、意見を踏まえて素案を修正し、パブリックコメントに出す案をご審議いただくための審議会を開催したい。パブリックコメントは第3回審議会後に実施したい。 意見記入表は、本日ご欠席の委員にもお配りしてご意見をいただく。ぜひ情報提供をいただければと思っている。
会 長	身近なところ、皆さんの環境あるいは組織などの中から「こういったものは可能性がある」などのご意見をいただき、修正した計画に対して、パブリックコメントをいただいた上で、次に進めたい。

4 その他
特になし

5 閉会

以上